

宿根サルビアの育て方

耐寒性がある宿根性の種類を、まとめて宿根サルビアといいます。夏の暑さに強く、丈夫な種類が多いので、花壇などによく使用されます。

分布 中南米 ヨーロッパ

種類 サルビア・マイクロフィラ、サ・グアラニチカ、サ・インボルクラタ、サ・マドレンシス
サ・スクラレア、サ・オフィキナリス、サ・プラテンシス、サ・レウカンサなど

栽培管理の要点

栽培場所

植え付け、株分けは春に行います。風通し、日当たりがよい場所で、水はけのよい土壌が適しています。肥沃な土地を好むので堆肥、有機質肥料を十分にすき込んでおきます。

管理

マドレンシスやグアラニチカなどの大型の種類は株間を十分にとりましょう。また、大型の種類では倒伏防止の支柱が必要になることがあります。

植え付け当初は十分に水を与えます。地植えの場合、根づいてからは特に水やりの必要はありませんが、夏に日照りが続くようであれば、午前中に水を十分与えます。

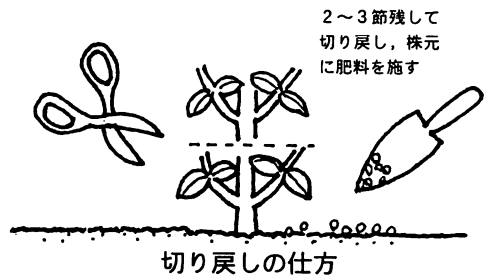
秋咲きの種類（レウカンサ、マドレンシスなど）は昼の長さが短くなると開花します。初夏に地際で切り戻しておけば、伸び過ぎずに花を咲かせることができます。なお、夜間照明がよくあたる場所ではなかなか花をつけないことがあるので置き場所や植え場所を選びましょう。

寒さにはやや弱い種類（マイクロフィラ、グアラニチカなど）があり、冬に寒さの厳しい場所では防寒が必要です。秋に枯れた地上部を刈り取り、土を盛ってビニールをかぶせておきます。

繁殖

種子をまく場合、発芽温度は20～25℃前後です。暖かくなってからまきましょう。

挿し木は5～6月頃、茎の充実した部分4～5節を採取し、清潔な砂などに挿します。



年間管理

1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			播種		開花	刈込		開花(秋咲き種)			
			株分け・植付け			追肥				刈取り	防寒